

死亡災害ゼロ・アンダー190 伊勢

令和5年
11月号

令和5年 労働災害発生状況

伊勢労働基準監督署
10月末速報値

伊勢労働基準監督署管内（伊勢市、鳥羽市、志摩市、度会郡）における令和5年10月末の休業4日以上之死傷者数（新型コロナウイルス感染症に係る疾病者を除く。）は図表のとおり、死亡者数は1人、休業4日以上之死傷者数は180人です。

死傷災害は全業種合計では、12人（7.1%）の増加となり、先月までとは一転、昨年より大幅増となっています。

業種別では製造業・建設業・林業が、事故の型では墜落・転落災害が大幅に増加しています。

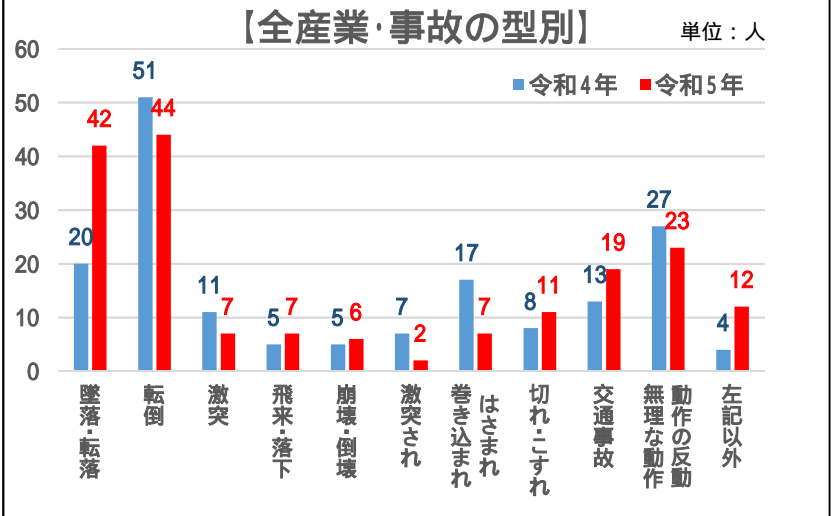
12月は1年の最終月です。年末の焦りから災害が発生しやすい月と言われています。

急いでいるときほど冷静に行動し、トラブルが発生した際に反射的に行動してしまい災害が発生しないよう、改めて注意喚起していただくようお願いいたします。

【令和5年 休業4日以上之死傷災害発生状況 伊勢署】

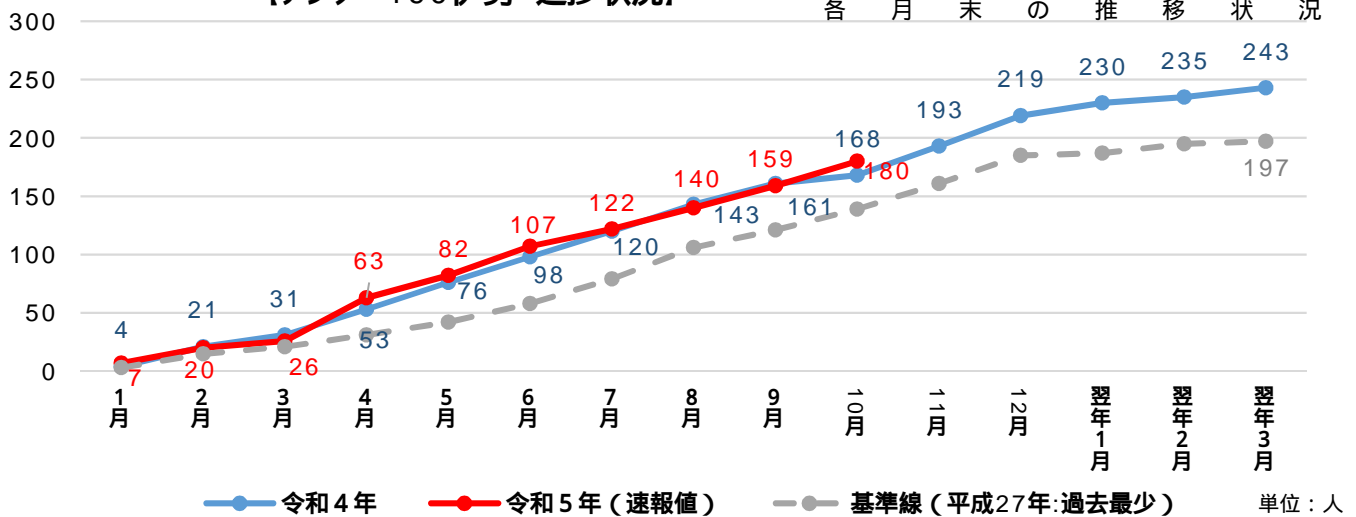
	令和4年		令和5年		前年比	
	死亡	死傷	死亡	死傷	(死亡)	(死傷)
全業種		168	1	180	+12	+7.1%
製造業		28		32	+4	+14.3%
建設業		18	1	24	+6	+33.3%
道路貨物運送業		10		6	-4	-40.0%
林業		3		5	+2	+66.7%
小売業		31		32	+1	+3.2%
社会福祉施設		25		20	-5	-20.0%
旅館業		14		15	+1	-7.1%

【全産業・事故の型別】



【アンダー190伊勢 進捗状況】

休業4日以上之死傷者数
各月末の推移状況



令和5年度 年末年始無災害運動

令和5年12月1日～令和6年1月15日

「健康と安全で 幸せつなぐ年末年始」

年末年始無災害運動は、働く人たちが年末年始を無事故で過ごし、明るい新年を迎えることができるよう、事業場等の取り組み促進を図る趣旨で、昭和46年から厚生労働省の後援のもと中央労働災害防止協会が主唱する運動で、本年度で53回目を迎えます。

年末年始は慌ただしい中での大掃除や機械設備の保守点検・再稼働等の作業が多くなるほか、物流等の増加に伴う交通・荷役作業時の災害、積雪や凍結による転倒等の危険が増します。そのため各事業場においては、非定常作業における安全確認の徹底、作業前点検の実施、作業手順や交通ルールの遵守、安全衛生保護具の点検の実施、感染症予防を含めた労働者の健康状態の確認などに全員で取り組むことが一層重要となります。

皆で力を合わせて無事に一年を締めくくり、明るい新年を迎えられるよう、取り組みにご協力をお願いいたします。

異常発生時などの機械の停止を確実にお願いします！

機械の掃除や点検などを行う際は、機械を停止したうえで行うことが義務付けられています。

しかし、機械に物が詰まるなどの異常が発生し停止した際などに、反射的に手を入れてしまい、動き出した機械に指や手を挟まれる災害が毎年多発しています。

このような災害は、巻き込まれた指や手が切断に至る場合も多く、大型の機械であればそのまま全身が巻き込まれ、死亡災害となる非常に危険な類型です。

特に年末年始などの繁忙期にトラブルが発生した場合は、人間特性として省略行動をとってしまいがちであり、毎年全国で痛ましい事故が発生しています。

皆様が明るい新年を迎えられるよう、今一度社内で周知徹底をしていただき、このような災害が1件たりとも発生しないよう、よろしくご協力をお願いいたします。

